



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 ナイガイ
 代表者名 代表取締役社長 今泉 賢治
 (コード番号 8013 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理部門担当 市原 聡
 (TEL 03-6230-1654)

平成 30 年 1 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月 16 日に公表いたしました平成 30 年 1 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 1 月期 第 2 四半期累計期間 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日) の業績予想値の修正

(連結)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,000	50	90	75	9 円 13 銭
今回修正予想 (B)	7,800	124	188	136	16 円 56 銭
増減額 (B-A)	△200	74	98	61	—
増減率 (%)	△2.5	148.0	108.9	81.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期第 2 四半期)	7,816	243	75	46	5 円 69 銭

(個別)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,250	50	50	6 円 09 銭
今回修正予想 (B)	6,160	229	212	25 円 81 銭
増減額 (B-A)	△90	179	162	—
増減率 (%)	△1.4	358.0	324.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期第 2 四半期)	6,028	△13	△20	△2 円 48 銭

(注) 当社は平成 29 年 8 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い 1 株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 平成 30 年 1 月期 通期業績予想の修正 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

(連結)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,500	300	400	350	42 円 61 銭
今回修正予想 (B)	17,300	350	460	350	42 円 62 銭
増減額 (B-A)	△200	50	60	0	—
増減率 (%)	△1.1	16.7	15.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期)	16,900	461	377	309	37 円 66 銭

(個別)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,500	210	210	25円57銭
今回修正予想 (B)	13,500	370	310	37円75銭
増減額 (B-A)	0	160	100	—
増減率 (%)	0.0	76.2	47.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年1月期)	13,226	299	△40	△4円95銭

(注) 当社は平成29年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、レグウェア事業は概ね計画通りの実績となりましたが、通信販売事業及び量販店向けカジュアルアウター事業、ロンデックス事業が当初計画に届かず公表を下回る結果となる見込みです。

営業利益につきましては、レグウェア事業の売上が概ね計画通りに推移したことに加え、返品の減少、原価削減施策等の徹底が売上総利益の改善に寄与し、さらに物流費、販売費等が計画を下回ったことから、当初計画を上回る見込みとなりました。これにより、経常利益、四半期純利益も公表を上回る見込みです。

通期の業績予想につきましても、第2四半期累計期間の業績修正に伴い修正いたします。

*上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上